



高齢者の総合相談窓口です



ちいきほうかつしえん

地域包括支援センターだより

第72号（令和8年5月発行）

日常生活の機能に係る調査にご協力下さい

令和8年度は、庶路・西庶路地区にお住まいの要介護認定を受けていない65歳以上の方を対象にアンケート調査を行います。4月下旬頃にアンケートを郵送する予定です。お手元にアンケートが届いた方はご記入の上、同封の返信用封筒で返送ください。また、書き方等の不明点がある方は、お気軽にご相談ください。

※西庶路錦、西庶路朝日、西庶路、宮下地区にお住まいの方は、5月以降に行われる介護予防日常生活圏域ニーズ調査（介護保険に関するアンケート調査）の対象となるため、本アンケートは送付されません。

アンケートの活用方法のご紹介(一部)

健康状態を
把握する

日常生活の困りごとを
把握し、対応する

介護予防教室へ
勧奨する

「かいご・にっこり会」のお知らせ



家族の介護をしている方同士の交流会、「かいご・にっこり会」を下記のとおり開催します。介護について学んだり、リフレッシュや気分転換の機会として、ぜひご参加ください。

【対象者】 家族の介護をしている方、介護の経験がある方、介護について興味がある方なら
どなたでも OK

【開催日時・内容】

	日時	内容	会場
①	5月21日(木)	介護に関する講話、語り合い	西庶路コミュニティセンター
②	7月15日(水)	ヨガ体験	保健センター
③	9月10日(木)	みんなの介護教室 (テーマ:認知症)	社会福祉センター
④	11月19日(木)	歯のおはなし	西庶路コミュニティセンター
⑤	1月21日(木)	モルック体験	社会福祉センター
⑥	3月18日(木)	リフレッシュ軽運動	サンアリーナしらぬか

上記は予定となっております。日程や会場を変更する場合がありますので、初めて参加される方は必ずお申込みをお願いいたします。

温かい見守りが暮らしやすい地域を作ります

今、わが国では高齢者人口が増え続けており、独居や夫婦世帯で家族が遠方在住の方も多く、地域とのかかわりが少なく、社会的に孤立する高齢者が増えています。

地域の中には困っていても「助けてほしい」、「手を貸してほしい」とすぐに言えない方もいます。そのような状況に気づくためにはお互いに「変わりないかな?」、「元気かな?」といった気遣いや、あいさつを通じた声かけ、さりげない見守りを行うことが必要です。

地域の方の温かい見守りが、誰もが安心して暮らせる地域社会を作ります。

気づきのポイント



- 本人に会ったときの表情や会話の内容がかみ合わないなど、以前とは様子が違う。
- 郵便受けに新聞や郵便物がたまっている、日中でもカーテンが閉まっている。
- 参加していたサークルや集まりに来なくなった、お店などで会計がうまくできないのを見かけた。

➡ このような気づきがありましたら、**地域包括支援センター**へご相談ください。

地域包括支援センターは 65 歳以上の高齢者の総合相談窓口です。「ちょっと気になる」「誰に相談したらいい?」 という時には地域包括支援センターをご利用ください。

ご本人だけでなく、ご家族や地域の方からの相談も受け付けています。

早めの相談が、困りごとの深刻化を防ぐ第一歩です。どうぞお気軽にご連絡ください。

地域包括支援センター職員の紹介

白糠町地域包括支援センターには、7名が所属しています。



小松 望
(保健師)



坪井 美希子
(保健師)



山際 華怜
(保健師)



早川 彩子
(社会福祉士)



留田 卓哉
(主任ケアマネジャー)



田中 寿浩
(ケアマネジャー)



山口 淳子
(主任ケアマネジャー)

【相談先】 白糠町役場保健福祉部介護福祉課介護支援係 1階2番窓口
地域包括支援センター ☎2-2171(内線 527・528)